



公共工事等における 新技術活用システム

新技術活用システムは、民間により開発された新技術を、公共工事において積極的に活用していくためのシステムです。

NETIS を中核とする新技術の情報と、直轄工事等での適用および効果の検証・評価などの流れを体系化したものです。

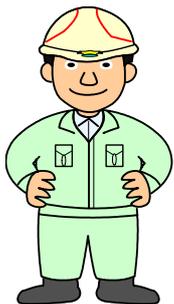


開発者



- Q 1 登録申請はどうすればいいの？（回答はP2）
- Q 2 開発した技術はどうしたら現場で使われるの？（回答はP3）
- Q 3 NETISってお金がかかるの？（回答はP5）
- Q 4 NETISに登録したらどんな良いことがあるの？（回答はP6）

施工者



- Q 1 自社開発技術を請負現場で使いたい（回答はP7）
- Q 2 現場で新技術を提案したら良いことがあるの？（回答はP8）
- Q 3 制約条件をクリアできる新技術を探したい（回答はP9）
- Q 4 新技術を提案したら手間や費用がかかるの？（回答はP11）

コンサルタント



- Q 1 設計業務のなかで、新技術の検討をするときにどんな技術があるかわからない（回答はP12）
- Q 2 NETISに載っている技術はどんなもの？（回答はP13）
- Q 3 施工実績や使われた現場条件を知りたい（回答はP13）

Q 1 登録申請はどうすればいいの？**申請に必要な以下の様式をダウンロードしてください。**

- ・様式 1 : 登録申請書
- ・様式 2 : 技術概要説明資料 (専用の入力システムが必要です。NETISのウェブサイトにアクセスし専用の入力システム (新技術情報入力システム) を入手してください。)
- ・様式 3 : 技術詳細説明資料
- ・様式 4 : 比較表

その他の登録までに必要な様式は、各地方整備局等で用意している場合があります。
必ず申請しようとしている地方整備局等の申請・相談窓口 (下記参照) に確認してください。
(申請・相談窓口のホームページにも申請に関する情報を掲載しておりますのでご確認ください。)

申請・相談窓口一覧は、P 15をご覧ください。

申請に必要な各様式はNETISホームページの「申請情報の登録申請書類」ページにてダウンロードできます。

また、「NETISとは」のページにて「申請マニュアル」がダウンロードできます。

(詳しくはP 14を参照ください。)

申請書類を作成してください。

- ・上記資料、及び記載内容の技術的裏付資料を作成してください。
- ・登録したい新技術のカタログ、試験成績等の資料があればご用意ください。

ヒアリング予約をしてください。

- ・作成した書類を申請しようとしている地方整備局等の申請・相談窓口事前に連絡をした上で持込み、申請をしてください。
- ・受理された段階で申請受付 (ヒアリング) の予約をしてください。

申請・相談窓口でヒアリングを受けてください。

- ・作成していただいた必要書類、新技術のカタログ、試験成績等に基づいて、申請・相談窓口のヒアリングを受けてください。

登録に必要な追加書類を提出してください。

- ・ヒアリングの際に、追加書類を求められた場合は提出してください。
- ・必要な書類が全て整えばNETISへの登録を行います。

(注1) 登録申請について不明な点がありましたら
申請・相談窓口へお問い合わせください。

(注2) 実施規約に同意の上、申請してください。

NETISホームページのURL

<http://www.netis.mlit.go.jp/>

Q2 開発した技術はどうしたら現場で使われるの？

- ・国土交通省では、NETIS登録技術の活用等を促進しています。開発された新技術がNETISに未登録の場合は、まずNETISに登録してください。

新技術を使う場合、NETIS登録技術から現場条件等に合致した技術を選定します。
(登録申請については、P2をご覧ください。)

現場で使ったNETIS登録技術については、一定の要件を満たせば事後評価²⁾を実施し、技術の確認を行います。事後評価の結果、評価の高い技術は、より一層、活用等が促進されることとなります。

設計時にも、新技術の採用を検討しますので、コンサルタント等への検討・採用の営業活動も有効です。

- ・積極的な現場での適用を希望する場合は試行申請型で申請することをおすすめします。

試行申請型の技術は、整備局等の評価会議での事前審査¹⁾で試行可能と判断されれば、全国の発注担当事務所に対し2年間条件に適合する現場をさがします。適合する現場があれば試行工事が行われます。

1) 事前審査：NETISに申請された情報に基づいて、技術の成立性や試行の妥当性の確認を行います。審査結果はNETISに掲載されます。

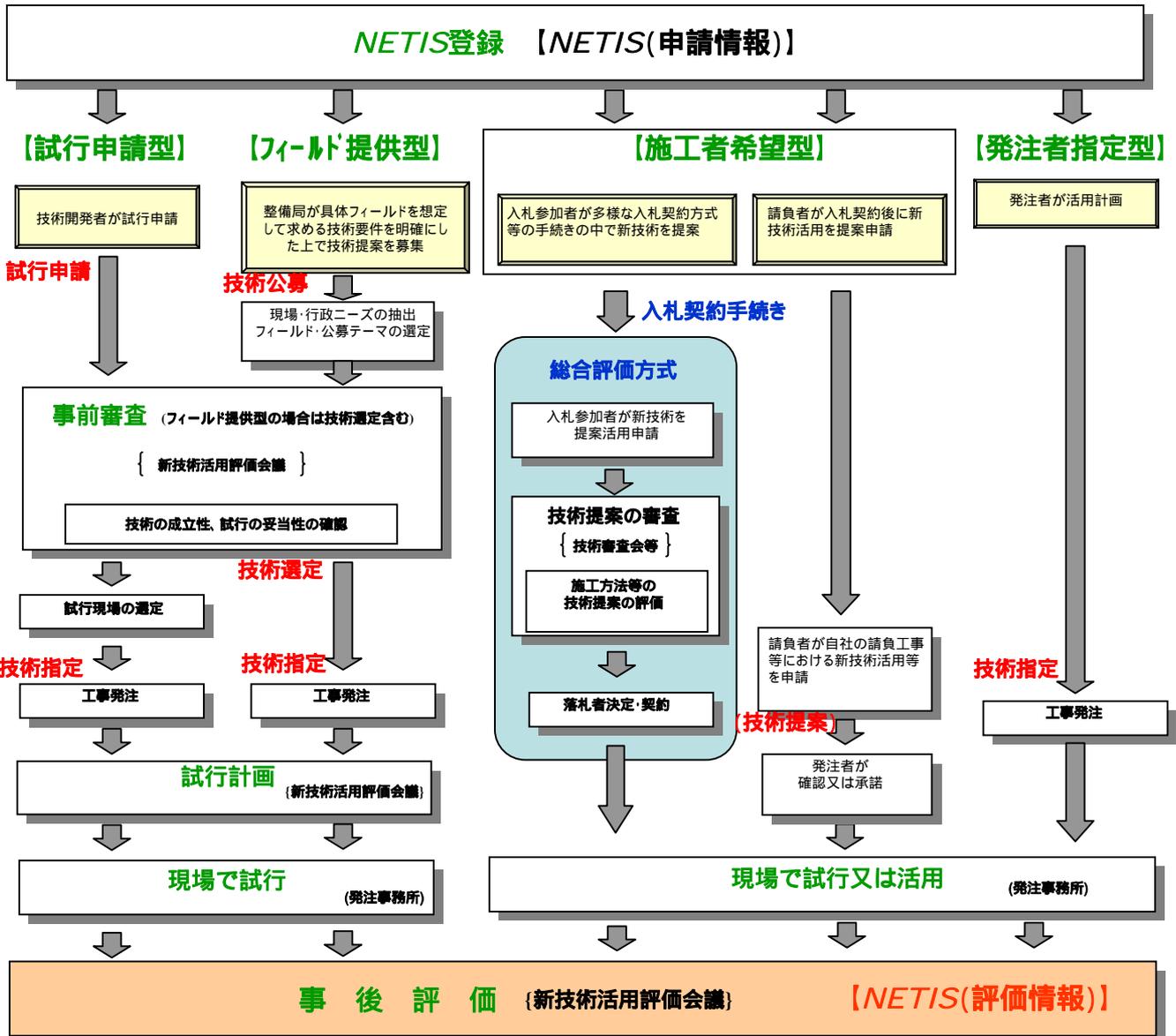
2) 事後評価：次の2種類の評価を行います。評価結果はNETISに掲載されます。

試行実証評価：試行工事が行われた技術に対して行われる評価で、試行工事の結果をもとに、安全性・耐久性などの技術的事項及び経済性等の事項について、試行工事に行った調査の結果と申請された情報の内容との比較、国が定める基準等を満たしているかの確認等、直轄工事等における技術の成立性等申請情報の妥当性を確認し評価するものです。

活用効果評価：直轄工事での活用が行われた技術に対して行われる評価で、新技術の活用効果等を総合的に判断するため、活用時に行う調査の結果に基づき、当該技術の優位性、安定性、現場適用性を総合的に評価するものです。



NETIS登録から活用までのプロセス



(注) 活用等の型について

試行申請型：直轄での活用実績が少ない（10件未満）の技術を対象に、NETIS申請者の試行申請に基づき試行及び事後評価を行う型です。実績がある場合、事後評価のみを行うこともあります。

発注者指定型：直轄における現場ニーズ、行政ニーズにより、必要となる新技术を発注者の指定により活用し、事後評価を行う型です。

施工者希望型：総合評価方式の入札契約手続きにおける技術提案又は請負契約締結後における技術提案申請に基づき、施工者がNETIS登録技術の試行又は活用し、事後評価を行う型です。

フィールド提供型：現場ニーズ等により、各地方整備局等がNETIS申請者から新技术提案の募集を行い、フィールドを提供し、事後評価を行う型です。

Q3 NETISってお金がかかるの？

- ・登録申請手数料は不要です。
- ・事前審査等にかかる費用は、**新技術の活用等の型に応じてNETIS申請者、発注者、施工者がそれぞれ負担していただきます。**
その費用の負担区分は下表のようになっています。
具体の金額は技術の内容によって異なります。

新技術の活用等の型と費用負担

活用等の型	施工費の負担	事前審査 (追加情報の請求、ヒアリング等の実施、専門家への意見聴取ほか)	試行調査	専門家委員会の開催・試験の実施費用
試行申請型	標準積算額の超過分はNETIS申請者の負担	NETIS申請者	NETIS申請者	NETIS申請者
発注者指定型	新技術で積算し、発注者の全額負担	NETIS申請者	発注者	発注者
施工者希望型	総合評価方式における技術提案の場合	標準積算額の超過分は施工者の負担とし、設計変更は行わない	2) (施工者)	施工者
	請負契約締結後提案の場合 (指定施工:契約後VE)	3) 契約後VEの規定に準拠	施工者	施工者
	請負契約締結後提案の場合 (指定施工:契約後VE以外)	施工者から提案された新技術で設計変更を行い、発注者の全額負担	施工者	施工者
	請負契約締結後提案の場合 (任意施工:監督職員承諾のみ)	標準積算額の超過分は施工者の負担とし、設計変更は行わない	施工者	施工者
フィールド提供型	フィールドを提供する新技術で積算し、発注者の全額負担	NETIS申請者	NETIS申請者	NETIS申請者

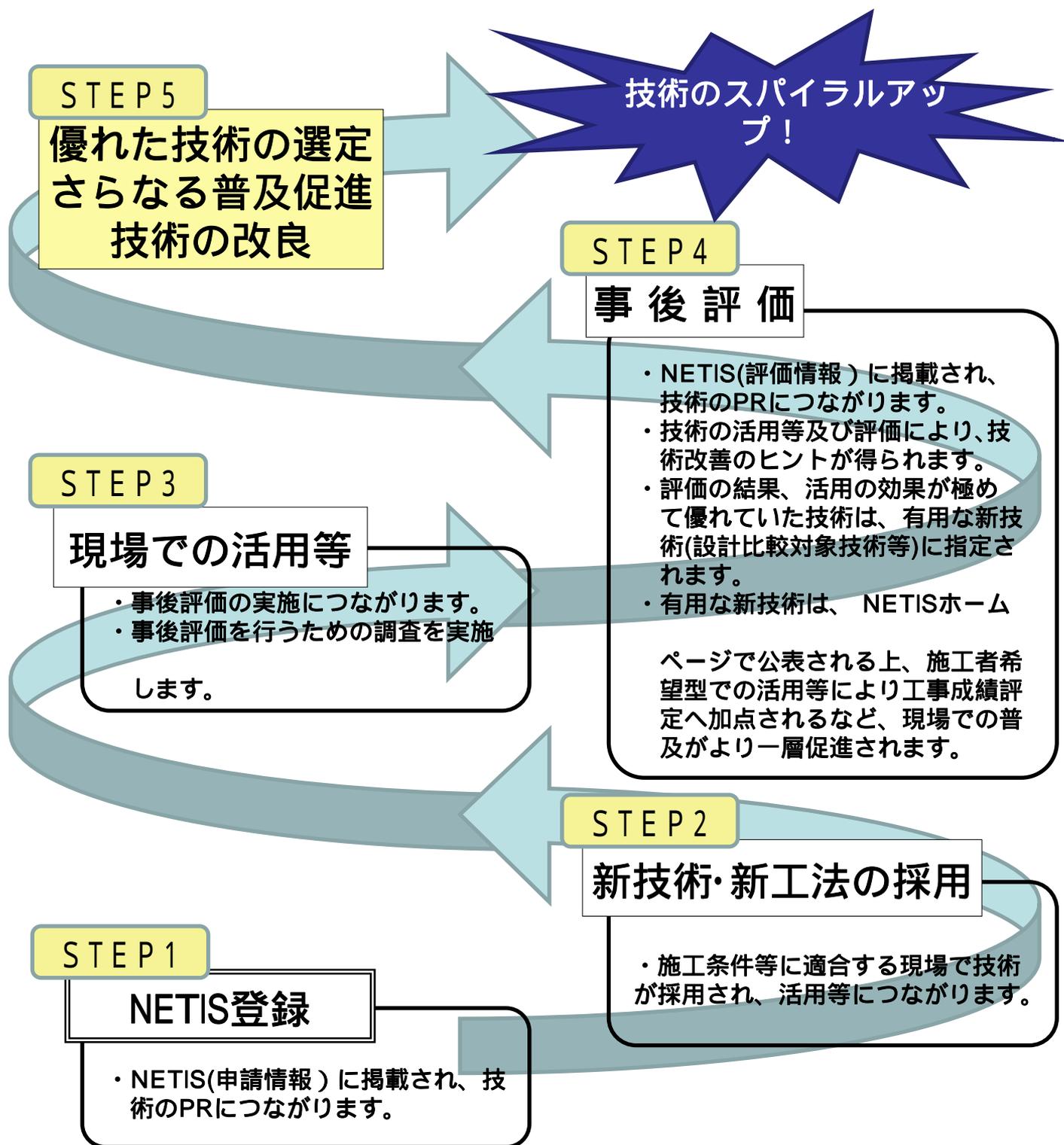
1) 上表は負担の原則を示したものです。

2) 入札時VE時の事前審査に必要となる「追加情報の請求、ヒアリング等の実施、専門家への意見聴取ほか」の費用負担は、入札時VE委員会が判断しますが、基本的には施工者に負担していただきます。

3) 契約後VE提案により請負額を変更する場合、当初の請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額(VE管理費)を削減しません。

Q 4 NETISに登録したらどんな良いことがあるの？

- ・ NETISに登録すると、開発した新技術の活用促進、事後評価で技術改善のヒントが得られるため、技術のスパイラルアップにつながります。



- ・ 施工者希望型で申請してください。

既に請け負っている現場で使える技術があれば、**施工者希望型**として提案できます。

施工者希望型の手順は以下のとおりです。詳しくは監督職員にご相談ください。

施工者希望型で申請

申請マニュアル P 5 3, 5 4 参照

受 理

任意は設計変更なし
指定は原則設計変更あり

現場で施工

工事成績評定の
加点対象

活用効果調査

新技術の活用を提案すると、工事成績評定の
加点の対象となります。

(詳細はP 8をご覧ください。)

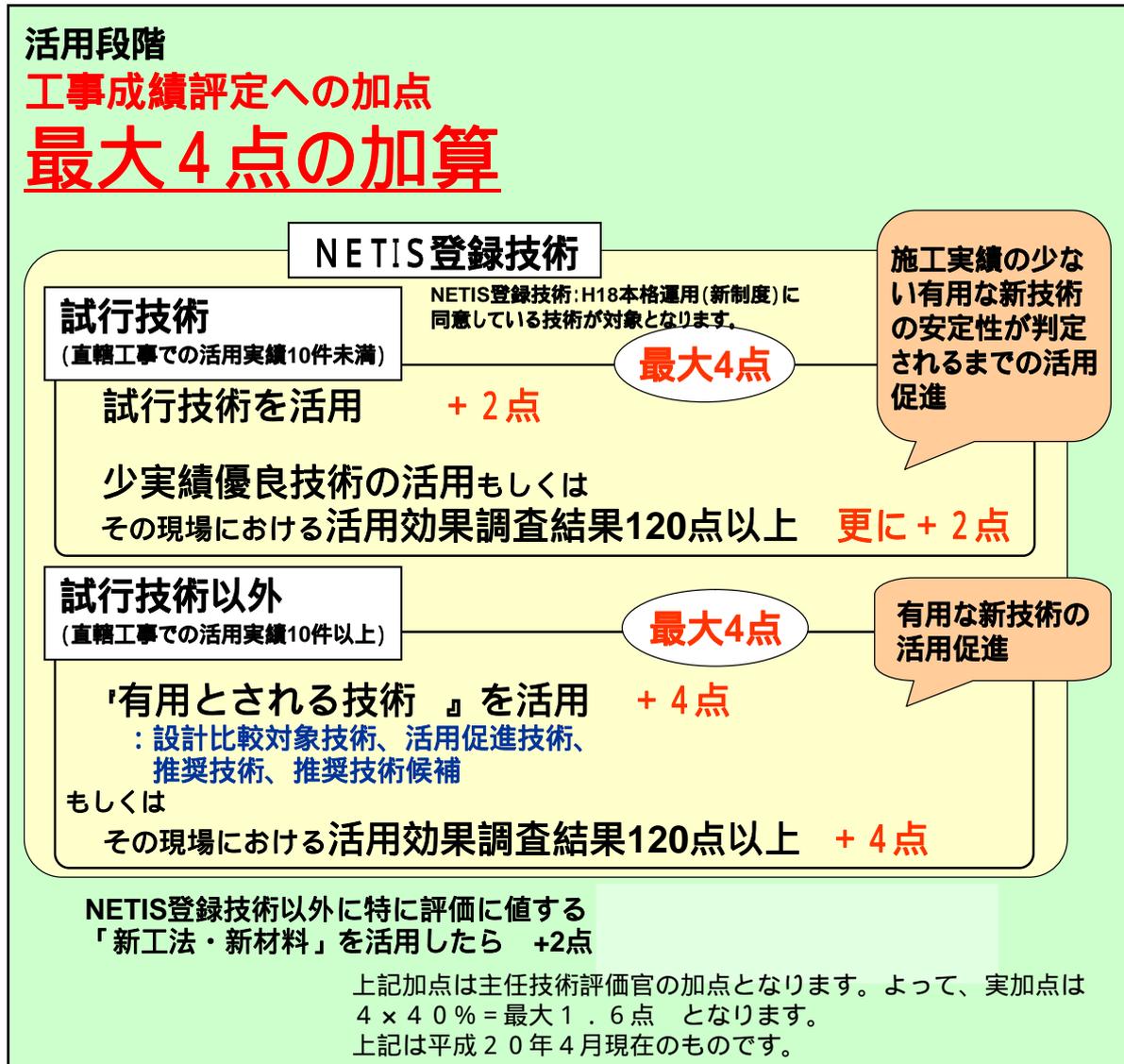
事後評価

工事成績評定だけでなく、総合評価方式での
入札において、事後評価で有用と認められた
新技術の活用等を行う提案を行った場合は、
評価の対象となります。

(評価方法、配点等については提案を行った地方整備局等によつて異なりますのでご注意ください。)

Q2 現場で新技術を提案したら良いことがあるの？

- ・新技術の活用を提案すると、工事成績評定での加点の対象となります。また、使った結果の効果が良好な場合は、さらに加点されます。



入札段階

総合評価方式での加点

配点は、提案を行った地方整備局等によって異なりますので、内容については各地方整備局等にお問い合わせください。

Q3 制約条件をクリアできる新技術を探したい

- NETISから新技術情報を入手して探してください。

NETIS（申請情報）から、NETIS申請者からの申請データを検索できます。

NETIS（評価情報）から、事前審査や事後評価(試行実証評価、活用効果評価)の結果を検索でき、事後評価結果は、当該現場条件で効果を発揮する新技術を選定する際の参考になります。

項目ごとのページが設けられています。

NETISのトップページ

NETIS 新技術情報提供システム
New Technology Information System

NETISとは | 評価情報 | 申請情報 | NETIS申請方法 | お知らせ

NETISのRSS配信を開始しました。

評価情報及び申請情報について

What's New

■ 有用な新技術の活用促進

活用効果評価にもとづいて技術を指定し、有用な新技術の活用促進を図ります。
以下の技術の評価が登録されたら一覧で確認できます。

- ・推奨技術の一覧(0件)
- ・推奨技術候補の一覧(1件)
- ・活用促進技術の一覧(0件)
- ・設計比較対象技術の一覧(13件)
- ・少実績優良技術の一覧(12件)

本システムでは、技術の位置付けとして、推奨技術、推奨技術候補、活用促進技術、設計比較対象技術、少実績優良技術という有用な新技術の種類を定義しています。
詳細は「公共工事等における新技術活用システム」のパンフレットの「有用な新技術の活用促進」をご覧ください。

NETIS (評価情報) の画面へ 評価情報の件数: 27件

国土交通省が活用または試行後に評価した新技術の一覧と評価結果を閲覧できます。
※新技術の評価は随時掲載していきます。

NETIS (申請情報) の画面へ 申請情報の件数: 3580件

※従来のNETIS情報です

民間から申請された新技術情報も検索することが可能です。

事前審査結果

事後評価結果

有用な新技術の評価情報一覧

試行現場照会中の新技術一覧

工種別検索 / 条件検索 / キーワード検索
特定新技術の一覧
実施規約同意書を提出した技術一覧

NETISホームページのURL <http://www.netis.mlit.go.jp/>

有用な新技術をどんどん活用して下さい！！

(有用な新技術は安心して使える技術です。)

- ・推奨技術 (推奨技術候補) ... 画期的な技術
- ・活用促進技術 ... 特定の性能が著しく優れている技術
- ・設計比較対象技術 ... 優位性が高く安定性が確認されている
- ・少実績優良技術 ... 優位性は高いが、実績の少ない技術

The screenshot shows the NETIS website interface. A red circle highlights the '活用促進' (Promotion) section under '有用な新技術の活用促進' (Promotion of Useful New Technologies). The text in this section describes the evaluation process and lists links to various technology categories. The 'What's New' section on the right contains updates about URL changes and system upgrades. The 'NETIS (評価情報) の画面へ' link shows 237 evaluation items, and the 'NETIS (申請情報) の画面へ' link shows 3580 application items.

NETISホームページのURL <http://www.netis.mlit.go.jp/>

Q 4 新技術を提案したら手間や費用がかかるの？

- ・提案しようとする新技術がNETISに未登録の場合は、まず申請者（開発者）によるNETIS登録が必要となります。
（登録申請については、P2をご覧ください。）
- ・活用申請書（様式 -13）を提出してください。
（NETISホームページからダウンロードできます。）
- ・発注事務所と打ち合わせが必要です。
- ・直轄での実績が10件未満の技術の場合は、試行調査を行う場合があります。
- ・事前審査等にかかる費用は負担していただきます。（下表を参照ください。）
- ・具体の金額は技術の内容によって異なります。

施工者希望型における費用負担一覧表

活用等の型		施工費の負担	事前審査 <small>（追加情報の請求、ヒアリング等の実施、専門家への意見聴取ほか）</small>	試行調査	専門家委員会の開催・試験の実施費用
施工者希望型	請負契約締結後提案の場合 (指定施工：契約後VE)	2) 契約後VEの規定に準拠	施工者	施工者	施工者
	請負契約締結後提案の場合 (指定施工：契約後VE以外)	施工者から提案された新技術で設計変更を行い、発注者の全額負担	施工者	施工者	施工者
	任意施工：監督職員承諾のみ	標準積算額の超過分は施工者の負担とし、設計変更は行わない	施工者	施工者	施工者

1) 上表は負担の原則を示したものです。

2) 契約後VE提案により請負額を変更する場合、当初の請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額(VE管理費)を削減しません。

Q 1 設計業務のなかで、新技術の検討をする ときにどんな技術があるかわからない

- ・設計業務を受注したら、必ずNETISを利用して新技術・新工法の活用検討を行ってください。(設計業務共通仕様書 第1209条 第12項 設計業務の条件に記載されています。)
- ・NETISで新技術情報を入手してください。

NETISでは、工種別や条件別などで絞り込み検索を行うことができます。

NETIS（申請情報）から、NETIS申請者からの申請データを検索できます。

NETIS（評価情報）から、事前審査や事後評価の結果を検索できます。

「工種で検索」画面

工種で検索

工種分類(土工・共通工・コンクリート工等)による新技術の一覧を検索、閲覧できます。
工種分類をクリックすると新技術の一覧が表示されます。
工種で検索では分類①と分類②を表示しています。
工種分類の内容がわからない場合は「[工種分類一覧表](#)(Excelデータ)」をご覧ください。

▶**複数工種の選択**
「検索オプション」で「複数分類」を選択し「一覧表示」ボタンをクリックしてください。
(※選択できる工種分類は3つまでです。)

検索対象 平成18年8月以降の登録、更新時期: 平
 平成17年4月以降の登録、更新時期: 平
 H16年度以前に登録された技術の有無
 事前審査 試行実証評価の有無
技術の区分 工法 材料 機械
検索オプション 単一分類 複数分類

土工
[掘削工/埋戻工/敷均し工/環状の工/灌漑工/掘土処理工/無入化掘工/安定処理工/掘削改良工/軽量盛土工/施工管理/その他](#)

コンクリート工
[コンクリート打設/養生/モルタル工/型枠工/溶接金網設置/鉄筋工/施工管理/その他](#)

河川維持
[堤防除草工/堤防木根補修/堤防防](#)

「条件で検索」画面

条件で検索

キーワードによる全文検索等ができます。複数項目に入力した場合は全てアンド条件となります。

検索対象 平成18年8月以降の登録申請書(本格運用)に同意された技術(登録、更新時期:平成18年8月以降)
 平成17年4月以降の登録申請書(評価試行方式)に同意された技術(登録、更新時期:平成17年4月～平成18年7月まで)
 H16年度以前に登録された技術
 事前審査 試行実証評価 活用効果評価

キーワード入力 登録番号でも検索できます。

NOT検索 ※NOT検索に入力したキーワードを持つデータは検索から除きます。

全文検索 ※初期設定は全文検索です。以下の項目を選択すると選択した情報項目だけの検索を行います。

概要 新規性及び期待される効果 施工方法 施工単価
 適用条件 適用範囲 留意事項 今後の課題とその対応計画
 実験等実施状況 添付資料 その他(写真及びタイトル) 参考文献

検索オプション ※必要な項目のみ選択、入力してください。

▶**様式資料** 詳細説明資料(様式3)

▶**工種分類の選択**

分類(1)

分類(2)

分類(3)

分類(4)

▶**技術の区分** 工法 材料 機械 製品 システム

▶**キーワード** 安全・安心 環境 情報化 コスト 品質 景観
 伝統・歴史・文化 リサイクル

▶**開発目標** 省人化 省力化 経済性 施工精度 耐久性 安全性 作業環境 周辺環境
 地球環境 資源 品質の向上 リサイクル その他

Q 2 NETISに載っている技術はどんなもの？

- NETIS（申請情報）は、NETIS申請者からの申請データで、条件設定などにより必ずしも効果が期待できない場合もあります。
- NETIS（評価情報）は、評価会議で審議した事前審査や事後評価の結果が掲載されています。

設計等においてNETIS登録技術を用いる際には、NETIS（申請情報）とNETIS（評価情報）の違いに十分注意してください。



Q 3 施工実績や使われた現場条件が知りたい！

個別情報にかかわることなので、NETISに記載されている各技術の問合せ先 担当者 にお問い合わせください。

NETIS ホームページの紹介

「NETISとは」画面

NETISとは

新技術情報提供システム (NETIS【ネティス】)とは

国土交通省は、新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として、新技術情報提供システム (New Technology Information System:NETIS)を整備しました。NETISは、国土交通省のインターネット及びインターネットで運用されるデータベースシステムです。

実施要領のダウンロード

各運用マニュアルのダウンロード

NETISのRSS配信が開始しました。

What's New

- NETIS、NETIS会議室のURLを変更します。
- URL変更日 (予定):3月25日~26日
- NETIS新URL:http://www.netis.mlit.go.jp/

登録申請に必要な様式等のダウンロード

「NETIS申請方法」画面

NETIS申請方法

登録申請について

登録申請書類

型式1 申請書

型式2 技術概要説明資料

型式3 詳細説明資料

型式4 比較表

評価情報の申請書類

試行申請書、施工者希望型の場合

試行・評価申請書

試行希望調査

活用申請書

試行申請に関する同意書

フィールド提供型の場合は、技術提案書発注時に既に定める技術資料の提出形式とする

調査表

試行調査表

活用効果調査表

請負費提出用

申請・相談窓口一覧

登録申請に必要な様式等のダウンロード

評価情報の申請様式等のダウンロード

このシステムはInternet Explorerの文字サイズ「小」で開示しております。



申請・相談窓口一覧

北海道開発局	事業振興部 技術管理課	011-709-2311 (内線 5652)	〒060-8511 北海道札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎 http://www.hkd.mlit.go.jp/
東北地方整備局	東北技術事務所 施工調査課	022-365-8211 (内線 384)	〒985-0842 宮城県多賀城市桜木3-6-1 http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/
	仙台港湾空港技術調査事務所 技術開発課	022-791-2113 (内線 6635)	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡5-1-35 http://www.pa.thr.mlit.go.jp/sendaiqicho/
関東地方整備局	関東技術事務所 施工調査課	047-389-5127 (内線 374)	〒270-2218 千葉県松戸市五香西6-12-1 http://www.ktr.mlit.go.jp/kangi/index.htm
	横浜港湾空港技術調査事務所 調査課	045-461-3895 (内線 6025)	〒221-0053 神奈川県横浜市神奈川区橋本町2-1-4 http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/yokohamagicho/
北陸地方整備局	北陸技術事務所 施工調査課	025-231-1281 (内線 386)	〒950-1101 新潟県新潟市西区山田2310-5 http://www.hrr.mlit.go.jp/hokuqi/
	新潟港湾空港技術調査事務所 技術開発課	025-222-6115 (内線 422)	〒951-8011 新潟県新潟市中央区入船町4-3778 http://www.qicho.pa.hrr.mlit.go.jp/
中部地方整備局	中部技術事務所 施工調査課	052-723-5704 (内線 392)	〒461-0047 愛知県名古屋市中区大幸南1-1-15 http://www.cbr.mlit.go.jp/chugi/
	名古屋港湾空港技術調査事務所 技術開発課	052-612-9984 (内線 231)	〒457-0833 愛知県名古屋市中区東又兵衛町1-57-3 http://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/
近畿地方整備局	近畿技術事務所 新技術活用促進相談室	072-856-1941 (内線 511)	〒573-0166 大阪府枚方市山田池北町11-1 http://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/
	神戸港湾空港技術調査事務所 調査課	078-331-0058 (内線 62833)	〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町7-30 http://www.pa.kkr.mlit.go.jp/kobegicyo/
中国地方整備局	中国技術事務所 施工調査課	082-822-2340 (内線 386)	〒736-0082 広島県広島市安芸区船越南2-8-1 http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/
	広島港湾空港技術調査事務所 技術開発課	082-545-7018 (内線 42)	〒730-0029 広島県広島市中区三川町2-10 愛媛ビル http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/qicvo/
四国地方整備局	四国技術事務所 施工調査課	087-845-3135 (内線 317)	〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼1545 http://www.skr.mlit.go.jp/yongi/
	高松港湾空港技術調査事務所 技術開発課	087-811-5661 (内線 251)	〒760-0017 香川県高松市番町1-6-1 住友生命高松ビル http://www.pa.skr.mlit.go.jp/tkqitvou/
九州地方整備局	九州技術事務所 施工調査課	0942-32-8245 (内線 384)	〒830-0002 福岡県久留米市高野1-3-1 http://www.qsr.mlit.go.jp/kyuqi/
	下関港湾空港技術調査事務所 技術開発課	0832-68-1250 (内線 52)	〒750-0066 山口県下関市東大和町2-29-1 http://www.qitvo.go.jp/

受付時間:平日9:30～12:00、13:00～16:00、土日祝日を除く 詳しくは窓口にお問い合わせ下さい。

NETISホームページのURL <http://www.netis.mlit.go.jp/>